

1. 調査趣旨

本調査は、技能実習を修了し帰国した技能実習生について、帰国後の就職状況、職位の変化、日本で修得した技術・技能・知識の活用状況などを把握することにより、技能実習生の帰国後の実態を明らかにし、技能実習制度の適正・円滑な運用を図るための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査対象

技能実習を修了した全ての技能実習生(平成30年度までは技能実習2号を修了した技能実習生)のうち、令和元年8月から11月までの間に帰国(予定を含む)した24,789人(中国、ベトナム、インドネシア、フィリピン及びタイ)。

3. 調査方法

- (1) 調査対象者の所属する監理団体及び企業単独型実習実施者に対し、対象人数分の母国語調査票とオンライン調査による回答方法の案内書を送付し、調査対象者への配付を依頼。
- (2) 調査対象者は帰国後に調査票に回答し、母国から外国人技能実習機構調査事務局に調査票を返送、または母国からオンラインにより回答。
- (3) 回答は無記名、多肢選択方式(一部自由記述欄あり)。

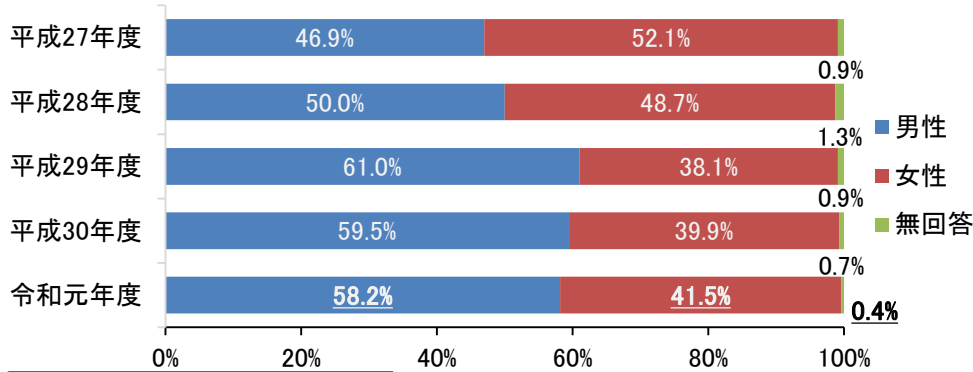
4. 有効回答数・回収率

調査対象数	有効回答数	回収率
24,789	7,096	28.6%

有効回答者の内訳

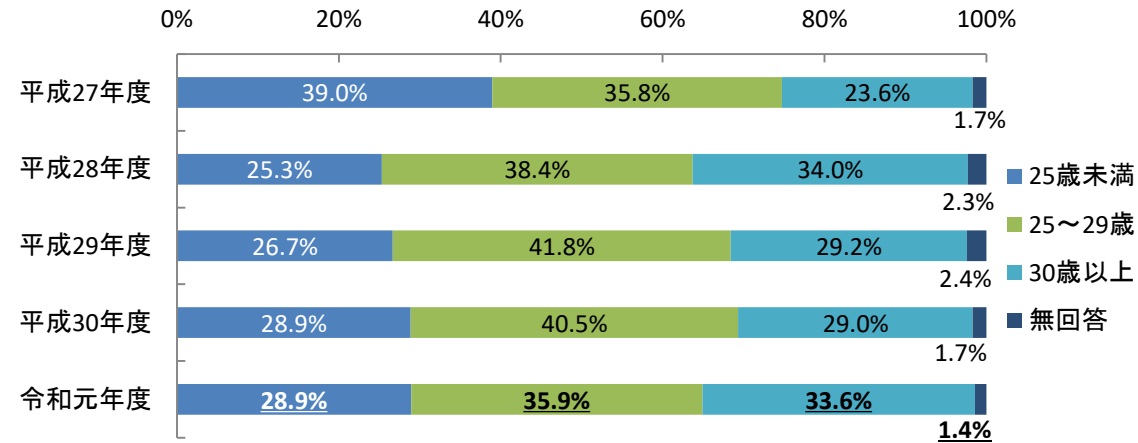
技能実習生の性別

「男性」が58.2%、「女性」が41.5%を占めている。



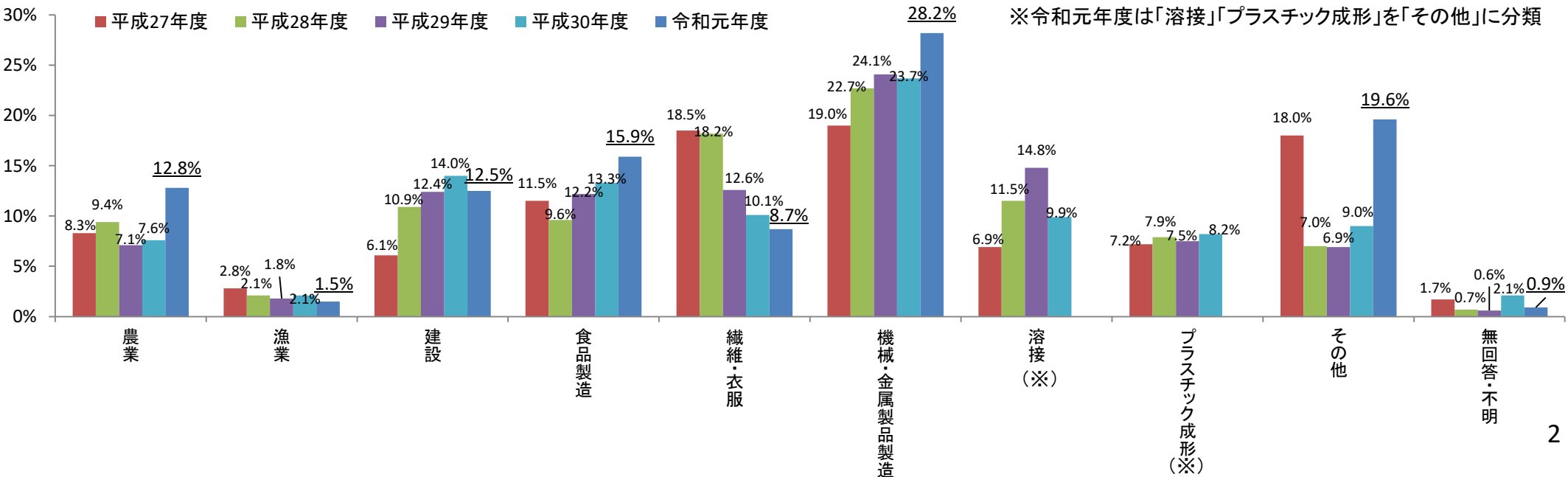
技能実習生の年齢

30歳未満が64.8%を占めている。



技能実習生の職種

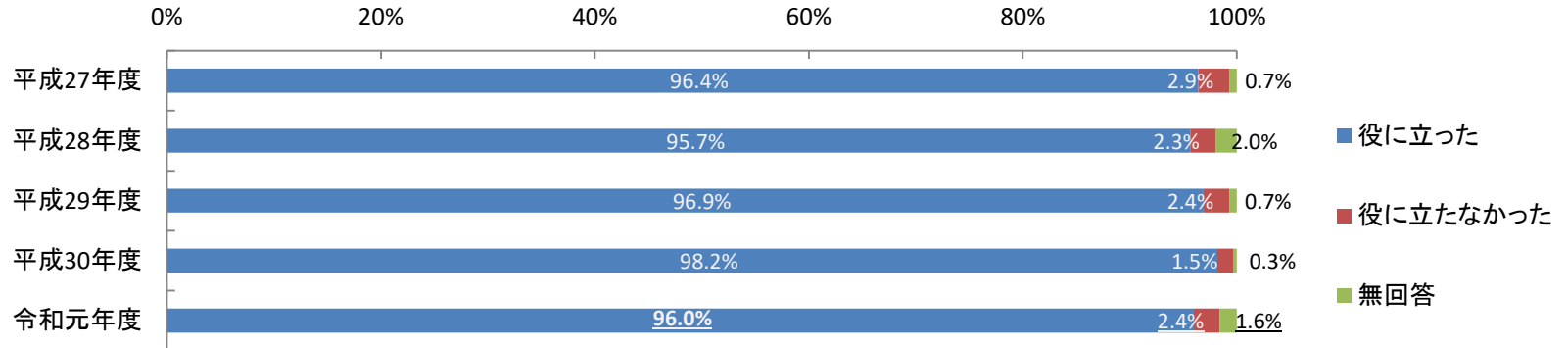
「機械・金属(28.2%)」、「その他(19.6%)」、「食品製造(15.9%)」の順で多くなっている。



技能実習の効果

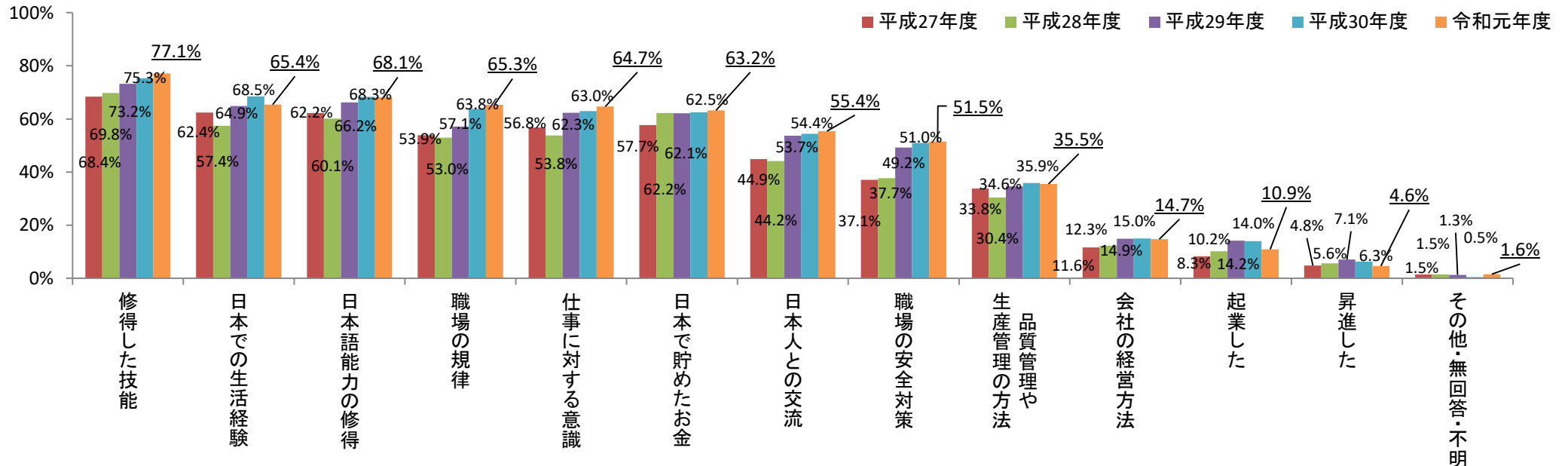
技能実習の効果

技能実習期間を通じて学んだことが「役に立った」と回答した人は96.0%となっている。



役に立った内容

役に立った具体的な内容は、「修得した技能」が77.1%と最も高く、「日本語能力の修得」が68.1%、「日本での生活経験」が65.4%と続く。



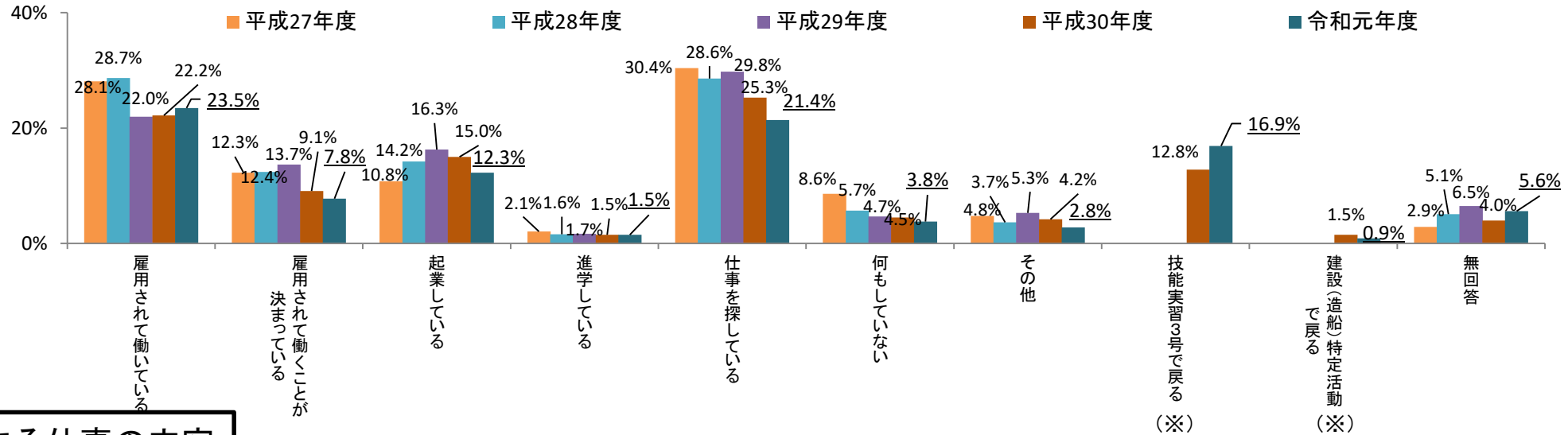
※ 複数回答可

帰国後の就職状況

帰国後の就職状況

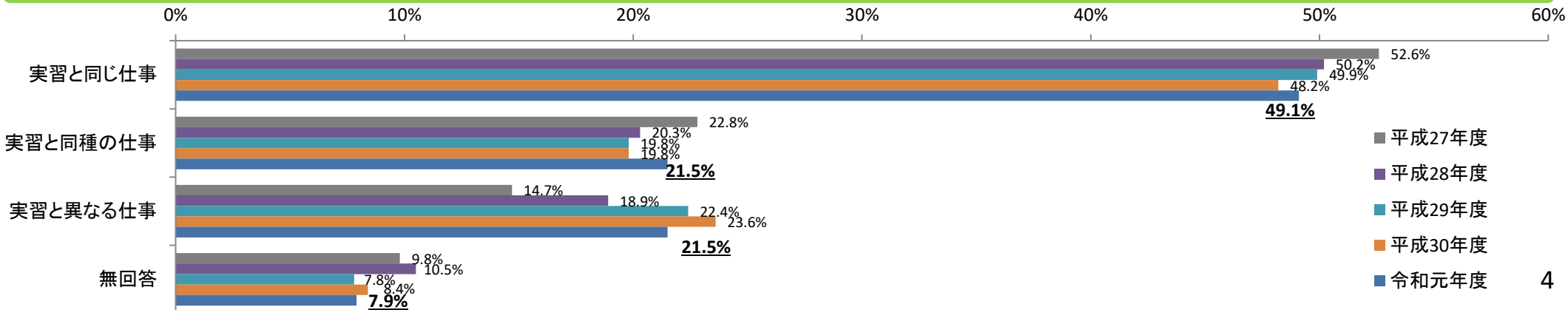
※「技能実習3号で戻る」及び「建設（造船）特定活動で戻る」は平成30年度から選択肢に追加。
建設（造船）特定活動とは、建設（造船）分野の外国人材受入れのための緊急かつ時限的措置に係る在留資格。

帰国後の就職状況について「雇用されて働いている(23.5%)」、「雇用されて働くことが決まっている(7.8%)」または「起業している(12.3%)」と回答した人は43.6%となっている。また、帰国後「仕事を探している」と回答した人は21.4%となっている。なお、職種別の状況はP9、国籍別の状況はP10、実習区分別はP11のとおりである。



従事する仕事の内容

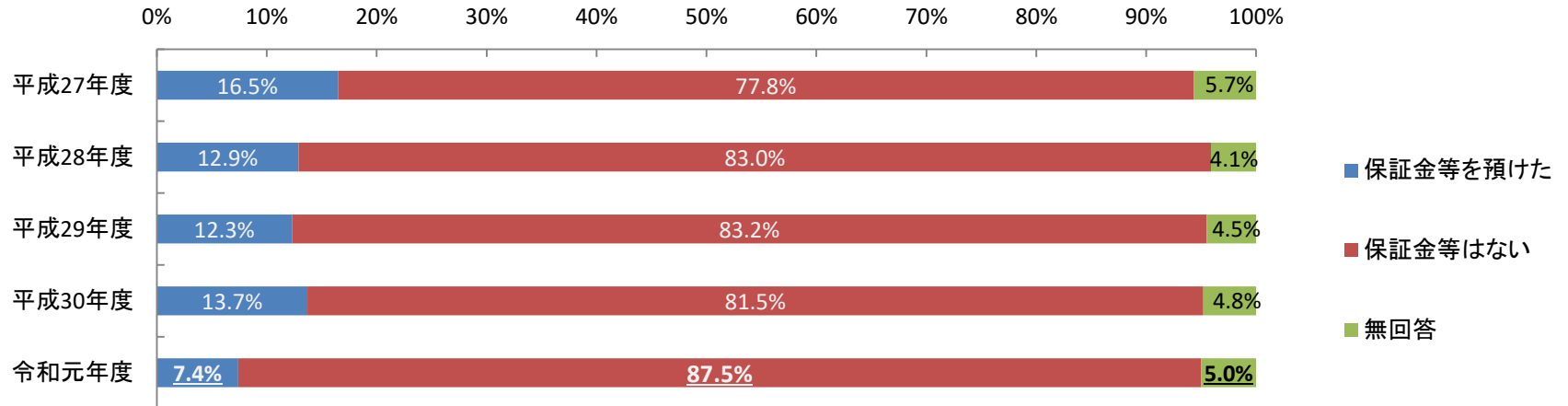
「雇用されて働いている」、「雇用されて働くことが決まっている」または「起業している」と回答した者のうち、従事する仕事の内容が「実習と同じ仕事(49.1%)」または「実習と同種の仕事(21.5%)」と回答した人は70.6%となっている。



保証金の有無等

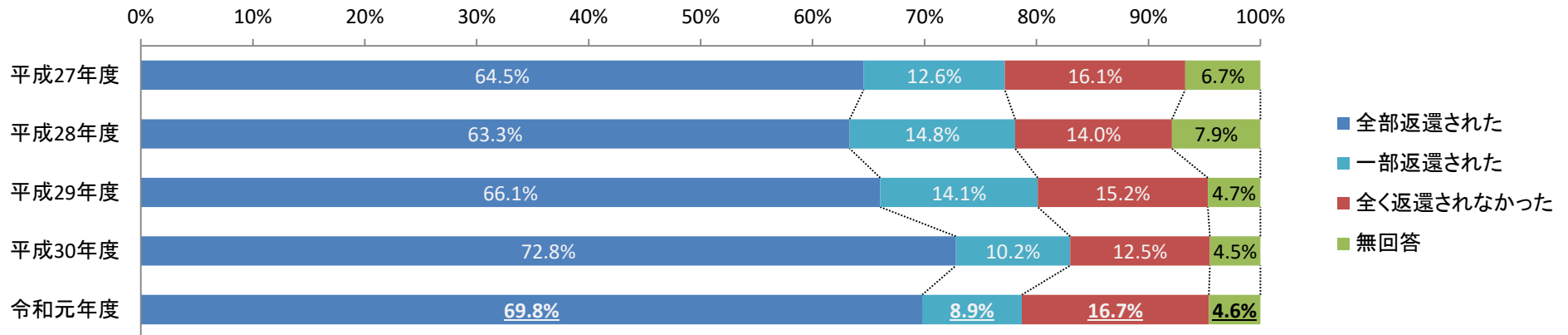
保証金等の有無

「保証金等はない」と回答した人は87.5%となっている。



保証金等の返還の有無

「保証金等を預けた」回答者に対し、返還状況について尋ねたところ、「全部返還された」と回答した人は69.8%となっている。



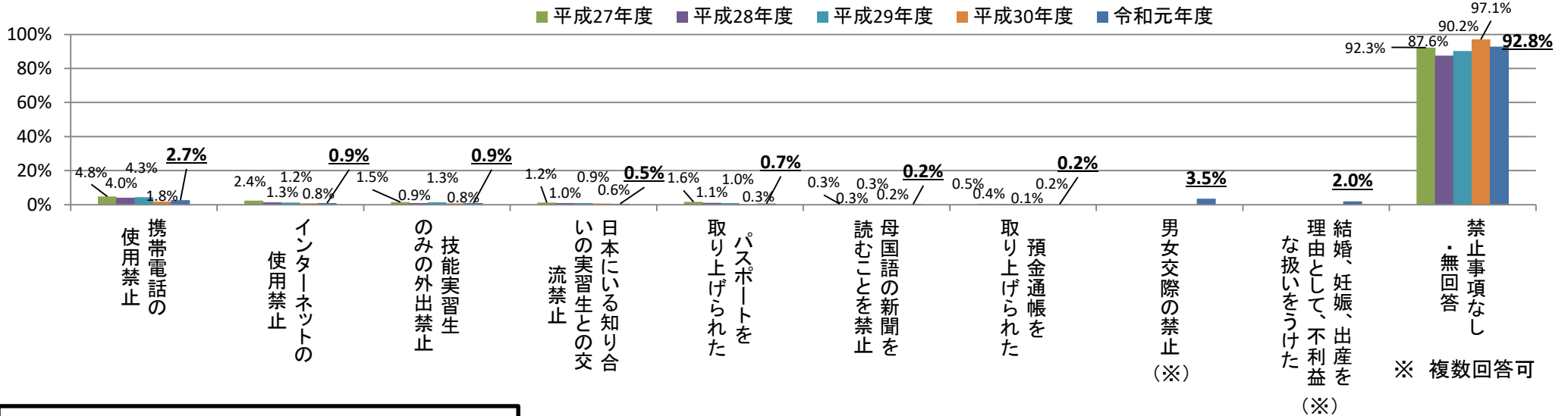
※保証金等とは、技能実習生本人または親族などから送出機関や監理団体に預ける金品、不動産などを指し、実習生本人が失踪した場合等にそれら機関に対する保障に充てられるもの。なお、日本への渡航費用などの工面のために行う借金のことではない。

在留中の問題の有無

実習期間（在留）中の禁止事項

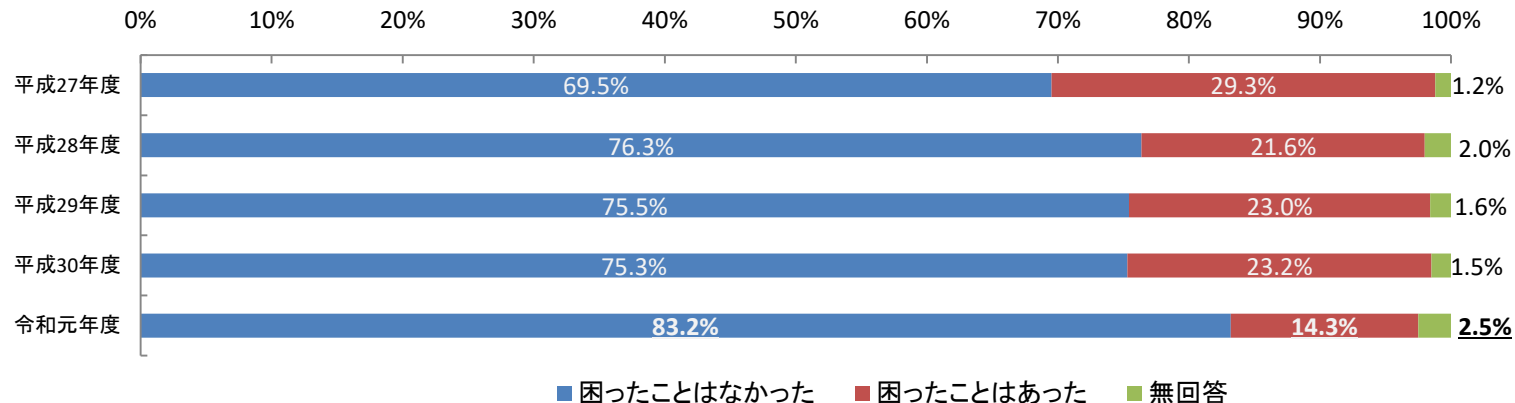
※「男女交際の禁止」及び「結婚、妊娠、出産を理由として、不利益な扱いを受けた」は令和元年度から選択肢に追加。

「禁止事項がなかった」との回答（無回答を含む）は92.8%となっている。禁止事項の内容は、「男女交際の禁止」が3.5%で最も多く、「携帯電話の使用禁止」が2.7%と続く。

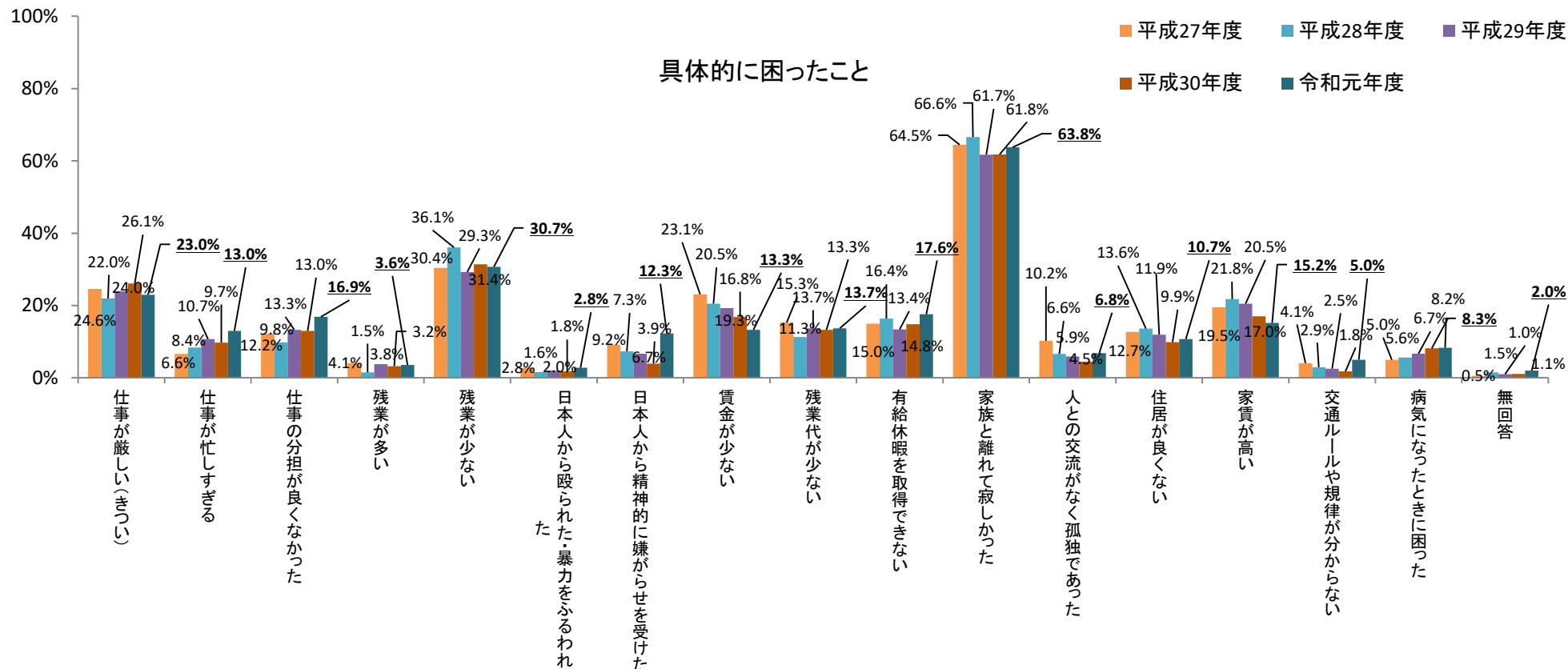


実習期間（在留）中に困ったこと

日本在留中にコミュニケーション以外で困ったことがあったかどうかを尋ねたところ、「困ったことはなかった」と回答した人は83.2%となっている。「困ったことはあった」と回答した人の具体的な内容は、「家族と離れて寂しかった」が63.8%で最も多い。



在留中の問題



※ 複数回答可

自由記述欄(その他の意見)

有効回答した7,096人のうち、870人から意見があった。上記以外の意見の例は以下のとおり。

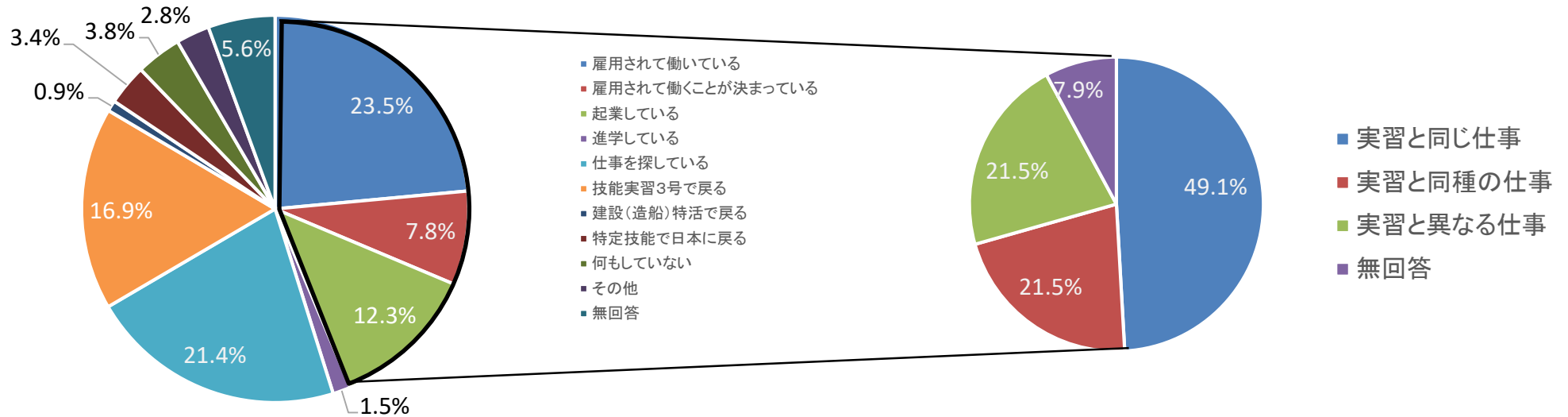
- ・日本に来てからも、日本語の勉強のサポートが続けば良いと思う。
- ・礼拝の時間について、もっと寛容に対応してほしい。
- ・問題が発生した時に気兼ねなく相談できるよう、女性の指導者・スタッフがいた方が良い。
- ・3号の試験は外国人にとって、とても難しい。
- ・最初は仕事のことも日本語も分からず、大変だったが、時間が経つにつれて、理解できるようになり、楽しむことができた。
- ・技能実習を経験して、日本語、日本の技能、規律等を沢山学ぶことができたことを嬉しく思う。
- ・外国人労働者だからという差別を感じたので、平等であるべきだと思う。
- ・帰国後に働く場所を推薦してほしい。

帰国後の就職状況(全体)

帰国後の就職状況

帰国後の就職状況について、「雇用されて働いている(23.5%)」「雇用されて働くことが決まっている(7.8%)」または「起業している(12.3%)」と回答した人は、43.6%となっている。

また、「雇用されて働いている」、「雇用されて働くことが決まっている」または「起業している」と回答した者のうち、従事する仕事の内容が「実習と同じ仕事(49.1%)」または「実習と同種の仕事(21.5%)」と回答した人が70.6%となっている。



	令和元年度 (平成30年度)	令和元年度 (平成30年度)
雇用されて働いている	23.5%	(22.2%)
雇用されて働くことが決まっている	7.8%	(9.1%)
起業している	12.3%	(15.0%)
上記3つの合計(※1)	43.6%	(46.2%)
進学している	1.5%	(1.5%)
仕事を探している	21.4%	(25.3%)
技能実習3号で戻る(※2)	16.9%	(12.8%)
建設(造船)特定活動で戻る(※2)	0.9%	(1.5%)
特定技能で日本に戻る	3.4%	2.3%
何もしていない	3.8%	(4.5%)
その他	2.8%	(4.2%)
無回答	5.6%	(4.0%)

	令和元年度 (平成30年度)	令和元年度 (平成30年度)
実習と同じ仕事	49.1%	(48.2%)
実習と同種の仕事	21.5%	(19.8%)
上記2つの合計(※1)	70.6%	(68.0%)
実習と異なる仕事	21.5%	(23.6%)
無回答	7.9%	(8.4%)

(※1) 四捨五入の関係で値が完全に一致しない場合がある。

(※2) 「技能実習3号で戻る」及び「建設(造船)特定活動で戻る」は平成30年度から選択肢に追加。

建設(造船)特定活動とは、建設(造船)分野の外国人材受入れのための緊急かつ時限的措置に係る在留資格。

帰国後の就職状況(職種別)

		農業	漁業	建設	食品製造	繊維・衣服	機械・金属	その他
帰国後の就職状況	雇用されて働いている	24.4%	32.1%	13.2%	16.6%	27.3%	27.2%	27.9%
	雇用されて働くことが決まっている	6.6%	4.6%	8.8%	6.7%	10.4%	8.0%	7.7%
	起業している	20.6%	17.4%	12.6%	10.0%	8.3%	11.4%	11.3%
	上記3つの合計(※)	51.6%	54.1%	34.6%	33.3%	46.0%	46.6%	46.9%
	進学している	0.4%	1.8%	0.9%	2.7%	0.5%	2.1%	1.4%
	仕事を探している	16.0%	17.4%	20.4%	17.6%	16.7%	26.0%	25.1%
	技能実習3号で戻る	9.0%	18.3%	27.3%	28.7%	20.0%	12.2%	11.7%
	建設(造船)特定活動で戻る	0.1%	0.0%	4.7%	0.0%	0.3%	0.8%	0.4%
	特定技能で日本に戻る	3.3%	3.7%	4.4%	5.2%	2.4%	2.8%	2.8%
	何もしていない	3.7%	2.8%	2.3%	5.1%	7.3%	3.1%	3.5%
その他	2.1%	0.0%	1.8%	3.1%	3.4%	3.0%	3.1%	
無回答	13.7%	1.8%	3.6%	4.3%	3.3%	3.4%	5.1%	
仕事の内容	実習と同じ仕事	43.9%	44.1%	45.9%	44.0%	67.8%	50.6%	47.8%
	実習と同種の仕事	22.8%	22.0%	19.9%	25.9%	16.3%	19.1%	24.0%
	上記2つの合計(※)	66.7%	66.1%	65.8%	69.9%	84.1%	69.7%	71.8%
	実習と異なる仕事	23.0%	16.9%	24.1%	22.9%	9.9%	23.5%	21.0%
	無回答	10.2%	16.9%	10.1%	7.2%	6.0%	6.8%	7.2%

(※) 四捨五入の関係で値が完全に一致しない場合がある。

帰国後の就職状況(国籍別)

		中国	ベトナム	インドネシア	フィリピン	タイ
帰国後の就職状況	雇用されて働いている	37.6%	11.2%	13.5%	31.1%	44.0%
	雇用されて働くことが決まっている	9.8%	5.2%	4.9%	14.5%	10.7%
	起業している	12.5%	10.3%	20.5%	7.9%	4.6%
	上記3つの合計(※)	59.9%	26.7%	38.9%	53.5%	59.3%
	進学している	0.4%	2.6%	1.4%	0.0%	3.1%
	仕事を探している	15.9%	22.7%	34.8%	12.9%	14.8%
	技能実習3号で戻る	7.0%	29.9%	11.6%	14.4%	10.5%
	建設(造船)特定活動で戻る(※2)	0.1%	1.5%	0.4%	2.9%	0.0%
	特定技能で日本に戻る	0.9%	5.7%	3.1%	4.6%	2.0%
	何もしていない	6.1%	2.6%	1.2%	4.4%	7.0%
	その他	2.9%	3.0%	3.1%	1.9%	0.9%
	無回答	6.8%	5.2%	5.5%	5.4%	2.6%
	仕事の内容	実習と同じ仕事	54.4%	44.8%	28.9%	51.7%
実習と同種の仕事		23.2%	22.5%	22.2%	17.1%	16.5%
上記2つの合計(※)		77.6%	67.3%	51.1%	68.8%	86.0%
実習と異なる仕事		15.3%	23.8%	37.8%	22.7%	11.4%
無回答		7.0%	8.8%	11.2%	8.5%	2.6%

(※) 四捨五入の関係で値が完全に一致しない場合がある。

帰国後の就職状況(実習区分別)

		1号	2号	3号
帰国後の就職状況	雇用されて働いている	36.3%	19.0%	25.5%
	雇用されて働くことが決まっている	6.1%	8.3%	8.5%
	起業している	13.5%	11.1%	12.8%
	上記3つの合計(※)	55.9%	38.4%	46.8%
	進学している	1.1%	1.6%	2.3%
	仕事を探している	16.6%	23.9%	16.0%
	技能実習3号で戻る	7.7%	20.3%	18.9%
	建設(造船)特定活動で戻る(※2)	1.5%	0.8%	0.6%
	特定技能で日本に戻る	4.0%	3.0%	5.7%
	何もしていない	2.4%	4.4%	3.5%
	その他	1.9%	3.1%	2.6%
	無回答	9.1%	4.3%	3.6%
仕事の内容	実習と同じ仕事	52.1%	50.9%	33.2%
	実習と同種の仕事	19.7%	20.7%	34.8%
	上記2つの合計(※)	71.8%	71.6%	68.0%
	実習と異なる仕事	20.1%	21.4%	25.8%
	無回答	8.1%	7.0%	6.1%

(※) 四捨五入の関係で値が完全に一致しない場合がある。